



1_ 観光牧場では約 100 羽のエミューが飼育されている 2_ 学校の校舎を再利用した牧場 3_ 生後数日のエミューのひな 4・6_ マルシェでは地元食材を使ったお弁当屋や加工品を販売 5_ 体育館では地元林業関係者による伐木競技デモンストレーションやツリークライミングなどが行われた



熊本県菊池エミュー観光牧場 一般公開を始めました

オーストラリア原産の大型鳥「エミュー」の観光牧場が 4 月 29 日、菊池市重味の旧迫水小学校に一般開放スタート。家族連れや動物愛好家らが交流を楽しみました。

エミューの愛くるしい姿に笑顔

廃校になった旧迫水小学校に開設しています。山口油屋福太郎（福岡市）と日本食品（福岡県古賀市）の合併会社「熊本県菊池エミュー観光牧場（株）」が運営。化粧品に使用するエミューオイルや食肉に利用するために一昨年 12 月から飼育をスタート。エミューの赤ちゃんを抱いて撮影できるコーナーや餌やり体験では、愛くるしい姿に子どもたちは笑顔を見せていました。

一般開放当日は地元食材を使った飲食店や雑貨が並ぶマルシェも同時開催され、観光牧場は、多くの人でにぎわいました。訪れた人の中には旧迫水小学校の卒業生も。「ここは思い出が詰まった場所。また遊びに来ることができてうれしい」と久しぶりの母校を喜んでいました。

一般公開までの道のり

一般公開までにはたくさんの障害がありました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにオープン時期が遅れ、昨年 10 月には脱走により全国ニュースにもなりました。現在は入口の柵を二重にし、センサーや監視カメラを増設。再発防止策に取り組み、鳥インフルエンザの蔓延防止にも細心の注意を払っています。

今後、観光牧場は土日祝日の午前 10 時から午後 3 時まで営業する予定です。問い合わせは熊本県菊池エミュー観光牧場（株）まで。☎ 0968（27）1351

地域と一緒に成長したい



熊本県菊池エミュー観光牧場
長迫 吉治 肥育担当部長

皆さんの協力のおかげでようやく一般開放することができました。旧迫水小学校は地域の皆さんにとって思い出深い場所。校舎の備品や掲示物はなるべくそのままにしています。地元を離れた人も帰省した際にはここに立

ち寄って欲しいです。今後は来場者の話を聞きながら観光牧場をどのように発展させていくかを考えていきます。私たちだけではここを盛り上げていくことはできません。地域と一緒に成長していけると嬉しいです。